

第71回日本病跡学会総会プログラム

□ 7月6日 (土)

9時00分～9時05分

開会挨拶 総会長 稲垣 諭 (東洋大学)

9時05分～9時10分

東洋大学重点研究推進プログラム代表挨拶 松浦 和也 (東洋大学)

9時15分～10時15分

●一般演題 A●

座長：田中 伸一郎 (東京藝術大学保健管理センター)

A-1 漱石の病跡再考

○山田 和夫 (横浜尾上町クリニック)

○山田 和恵 (東洋英和女学院大学)

A-2 分裂気質者の性関係試論：中勘助の女性関係から

○佐藤 晋爾 (筑波大学医学医療系 茨城県地域臨床教育センター精神科)

A-3 川端康成——姿なき「母」への思慕と侵犯

○加藤 誠 (桜ヶ丘メンタルクリニック)

10時20分～11時20分

●一般演題 B●

座長：内海 健 (東京藝術大学 名誉教授)

B-1 知里幸恵が生きた精神的な負荷について

○伊藤 淳子 (埼玉工業大学/山王教育研究所)

B-2 痛みの病跡学的現象学：佐藤亜有子『花々の墓標』を読む

○大内 良介 (東京大学大学院 総合文化研究科 博士後期課程)

B-3 パーシー・ビッシュ・シェリーの病跡

○竹田 稚子 (株式会社筑波心理科学研究所)

11時25分～12時25分

●会長講演●

座長：西依 康（自治医科大学）

プレイとゲームの哲学 — 坂口安吾と「ふるさと」という「カラクリ」 —

○稲垣 諭（東洋大学）

12時25分～13時25分

昼食休憩
(理事会)

13時25分～13時55分

総会

14時00分～16時00分

●シンポジウム① ～病跡学という欲望～ ●

コーディネーター：西依 康（自治医科大学）

S①—1 外から見た病跡学

○植野 仙経（京都大学）

S①—2 ヘーゲル、ブランショ、ルーセル：

ミシェル・フーコーにおける狂気と作品の不在をめぐって

○柵瀬 宏平（白鷗大学）

S①—3 病跡学者の仕事とその欲望

○齋藤 慎之介（自治医科大学附属さいたま医療センター）

16時05分～16時45分

●一般演題 C●

座長：芝 伸太郎（もみじヶ丘病院）

C—1 中井久夫が患者に描かせた絵から

中井が希求したものを見出す試み

○杉林 稔（社会医療法人愛仁会 高槻病院）

C—2 副作用なしに「絶望に効くクスリ」などあるのか？！

○田中 伸一郎（東京藝術大学保健管理センター）

16時50分～17時50分

●特別講演●

座長：稲垣 諭（東洋大学）

他者を理解すること・他者を解釈すること —医療人類学の観点から

○磯野 真穂（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院）

□ 7月7日（日）

9時20分～10時00分

●一般演題 D●

座長：牧瀬 英幹（中部大学）

D—1 シャンタル・アケルマンの、アウシュヴィッツは終わらない

○丸谷 俊之（お茶の水女子大学 保健管理センター）

D—2 デイヴィッド・クローネンバーグ——触れることの倫理——

○小林 聡幸（自治医科大学）

10時05分～11時05分

●一般演題 E●

座長：松田 真理子（京都文教大学臨床心理学部）

E—1 KANの創作活動における執着性について

○家田 麻紗、杉林 稔（愛仁会高槻病院）

E—2 マンガ「ゴールデンカムイ」の病跡学

異文化と共に生き回復した帰還兵の物語

○今村 弥生（杏林大学）

E—3 太陽モチーフの普遍性と

エドヴァルド・ムンクの《太陽》壁画の多面的意義

○角田 京子（東洋大学）

11時10分～12時10分

●教育講演①●

座長：角田 京子（東洋大学）

象徴主義絵画におけるエディプス・コンプレクス

ギュスターヴ・モロー「オイディプスとスフィンクス」とフェルナン・クノップフ「愛撫」

○森 耕治（美術史家）

12時10分～13時10分

昼食休憩

13時10分～14時10分

●教育講演②●

座長：稲垣 諭（東洋大学）

データで見る病跡学の「跡」

○浅田 義和（自治医科大学医学教育センター）

14時15分～15時15分

●一般演題 F●

座長：齋藤 環（筑波大学医学医療系 名誉教授）

F—1 当事者批評の現状報告——総合型、個人研究型、対話経由型

○横道 誠（京都府立大学）

F—2 〈pathography〉は病跡学か？—英語圏での用法について—

○齋藤 慎之介（自治医科大学附属さいたま医療センター）

F—3 Leo Kanner により最初に自閉症と

診断された Donald Triplett の生涯

○中山 浩（川崎市こども家庭センター）

●シンポジウム② ～狂いの哲学 古代から近代まで～ ●

コーディネーター： 牧瀬 英幹（中部大学）

S②—1 卓越することと狂気 —ギリシア哲学における狂気の在処—

○松浦 和也（東洋大学）

S①—2 啓蒙時代における狂いの星座

狂信（fanaticism）・熱狂（enthsiasm）・狂気（furor）

○津田 栞里（東洋大学）

S①—3 自然と精神の相互メタ性について

○野尻 英一（大阪大学）

